

6月30日（火）階段で・言葉・新聞

一時間目の終わりごろ、音楽担当の教員から声がかかりました。「六年〇組が、一学期最後の授業になったので、階段で歌わせたい」と。授業中なので、一年生の許可を得てから、体型をつくって合唱が始まりました。曲は「少年時代」。音楽室とは少し違った声が、南校舎一階に響き渡りました。この挑戦は、大成功だったと思います。次はここで、どんな合唱をしようかと、その後話題になりました。

生活目標朝会では、道徳担当の教員が子供から出たある「問い」を紹介しました。「なぜ、言葉には、いい言葉と悪い言葉があるのか」というものです。この問いの答えとして、「チクチク言葉」と「フワフワ言葉」を紹介したのです。教室ではどんな言葉を言われたら嬉しいかを学び合いました。フワフワ言葉で学校を作っていこというメッセージが最後にありました。

四年生が国語で新聞づくりを始めました。その導入で「おうぎ小ニュース」を扱ってくれました。「どんな工夫を校長先生がしているのか」の学び合いが始まりました。「子供の名前が必ず入っている」「一つの記事に一枚の写真がある」「見出しの字が大きい」「子供の感想が書いてある」「字の色や形を変えている」「遠くからでも見やすい」などなど、聞いていて嬉しくなりました。これからも工夫を駆使して発行していきます。



6月29日（月）受精卵・メディア・きまり

五年生の理科では、「ヒトとニワトリ、どちらの受精卵が大きいか」についての学び合いが行われていました。

「ヒトの方が後から生まれたから、ニワトリの方が大きい」「ヒトの方が体が大きいから、ヒトの方が大きい」「同じ人間として、ヒトであってほしい」などの意見が出ました。教科書や先生の助言で、卵の中で育つか、体の中で育つかが大きさの違いであることに気づいていきました。



六年生が国語で、自ら考える提案をまとめていました。メディアの問題について取り上げて、それを解決する案を考え、まとめているのです。様々な素晴らしい案がありました。「電車、バスの中ではスマホの使用は禁止」「ながらスマホの禁止」「イヤホンで聴くのは音楽だけ」「持っていない人がいる所ではスマホは使えない」「長時間使えないように、一定の時間でスマホが切れるようにする」など。国会に提案してもらいたいようなものもありました。



三年生の道徳では、友達の絵をマネして書いて出品した作品が入賞した場面で学び合っていました。マネして描いた子には罪悪感がありません。なぜこれがいけないことなのか、いろんな意見が出ました。「パクっているから」「友達に黙っていたから」「許可を得ていないから」「マネするのはいいけど、応募してはいけないことになっているから」などなど。きまり、規則の本質的な部分に議論が進んでいました。



6月28日（日）野菜

金曜日、二年生が校長室に獲れた野菜を持ってきてくれました。キュウリ2本とミニトマト4個。写真は、火曜日に二年生のある子が見せてくれたミニトマトです。昼休みに獲れたたのものを見せてくれたのです。木曜日はおうぎ学級の子がジャガイモを売ってくれました。本日は冷蔵庫から扇小で獲れたものを料理しました（してもらいました）。ごちそうさま。



6月27日（土）台風・地震

今年は台風と地震が多くやってきます。青森の地震に続いて、台風7号、8号がこの週末にやってきそうです。雨風が強くなる前に出勤して、雨風が強くなる前に返ろうと思ったのですが、帰りは雨に降られました。兄妹学級遊びの感想や選手権への回答に一年生が参加してくれる



ようになりました。六月の算数、国語チャレンジの丸つけも行いました。学校にいる間は、校舎は揺れませんでした。

6月26日（金）きまり・音読・兄弟

三年生が道徳で「きまり」について学び合いました。授業の導入で、「どんなきまりがあるか」と聞かれると、いろんな意見が出てきました。「学校では**名札**をつける」「犬の**フン**は片付ける」「**宿題**はやる」「テストでは**カンニング**をしない」「廊下は**右側**を歩く」教室では走らない」などなど。家庭や法律で決められたものよりも、この場面では学校でのきまりが多く発表されました。

一年生が音読**発表会**の**練習**をしていました。まずは教科書を持って、**並ぶ**ところから始まります。並び順についてもグループごとに話し合いが行われました。ある子が「〇〇さん、〇〇さん、次に〇〇さん・・・」などと**提案**したグループは**すぐに**音読練習が始まりました。一年生でもリーダーシップを発揮する子が誕生しているのだと、感じました。その子に従う子たちも、育っているのです。

今年度一回目の**兄妹学級遊び**が行われました。一年生と六年生、二年生と五年生、三年生と四年生でつくる兄弟で20分休みに遊びました。ほとんどの教室では自己紹介から始まりましたが、一年生と六年生は日ごろから交流していることから、**すぐに**遊びが始まりました。六年生は**進行**も上手で、一年生を**楽しませて**いました。



6月25日（木）中学校・大小・調理

小中連絡会があり、**向原中学校**へ職員が出向きました。中学生の**授業**の様子を参観し、その後は分科会に分かれて、**情報交換**や今後の取り組みについて協議しました。義務教育**9年間**で子供たちを育てていくことを考えると、小学校と中学校の**共通理解**が必要不可欠となります。扇小学校の卒業生は、相変わらず**張り切って楽しく勉強**を



していたので、安心しました。

二年生が算数で、数の大きさくらべをしました。児童数を示し（扇小 673 人、T 小 319 人、F 小 393 人）、どの学校が多いか、どうやって比べるのかを学び合いました。ある子は「**百の位**を見れば、扇小が一番多いことが分かる」と書いていました。ある子は**ひき算**をしました。答えが出れば、ひかれる数が大きいのです。「 $673 - 393 = 280$ 」だから、扇小の方が 280 人多いということになります。T 小と F 小では、百の位は「**あいこ**」と書いていた子もいました。

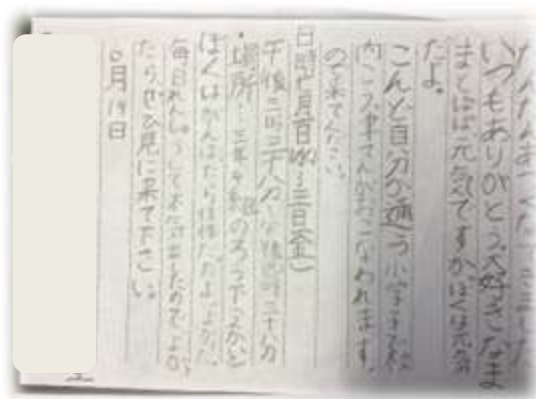
五年生が初めての調理実習をしました。黒板には、**授業前**にやっておくことが書いてありました。①**席の確認** ②**身支度をする** ③**荷物をしまって調理台を開ける** ④**手洗い** ⑤**お皿、おはしを人数分用意する** 10:50 **あいさつ** どのグループも満点とはいかずとも、この指示を確実に進めていたようで、授業開始にはすぐに先生からの話を聞いていました。



6月24日（水）案内・角度・キャラ

三年生が、国語の時間に**手紙**を書いています。**校内硬筆展**の案内を、お世話になっている人にかけているのです。

「だんだん暑くなってきました。いつもありがとう。大好きな**ママとパパ**、元気ですか。私は元気です。今度、私が通っている小学校で**校内硬筆展**が行われるので来てください。日時・・・場所・・・私はがんばりました。**毎日練習して本気**を出したのでぜひ見に来てください。」など。硬筆展の作品同様、本気で手紙を書いていたので、ぜひ来てもらいたいです。



四年生が算数で角度の学習をしました。**210 度**の角をどうやって測るかななどの活動をしました。ジャンプ問題では、**三角定規**を使って作ることができる角度を学び合いました。直角3つで **270 度**。45 度を抜くと **315 度**。直角2つと 60 度で **240 度**などが出てきました。振り返りでは、「360 度をこえる角はあるのか」というすばらしい「？」が生ま



れました。

五年生が学級活動で、クラスキャラを決めていました。候補に挙がったものの中で、どれを推薦したいかの意見が出ている場面です。「四角くて、やる時にはやる、やる時には輪になるという意味があるので、〇〇がよい」「トカゲは、素早く行動することを意味するので、〇〇がよい」「色がないので、みんなで色を決めていけるから、〇〇がよい」など。どんなクラスにしたいかをよく考えて発言していると、感心しました。



6月23日（火）音楽・朝食・粘土

音楽朝会。全校で「気球に乗ってどこまでも」を合唱しました。この合唱では途中、手拍子が入ります。二回目の合唱で、この手拍子を「指一本で」おこないました。その感想を六年生の子が「指一本の方が歌がよく聴こえる」と話しました。「手拍子に負けないように、この部分は大きな声で歌いましょう」という新たな課題のもとで、再度合唱が行われました。その声は体育館に響き渡りました。



おうぎ学級では、教育実習生と共に、朝ごはんについて学び合いました。朝ごはんを食べると、「頭」「体」「お腹」のスイッチが入ること、いろんな食材をとった方がよいこと、どんな朝ごはんがよいのかなどなどを、楽しく学び合いました。大谷翔平選手が、子供のころに食べていたメニューも紹介されました。朝からしっかり食べることが、張り切って楽しく勉強する源になることを、分かってくれたと思います。



二年生の教室では、図工で粘土を扱っていました。なぜか鉢巻をして取り組んでいる子が数人いました。できあがったものの名前を、何人かが教えてくれました。「クリスマスタワー」「メッシタワー」「ソフトクリームタワー」「ビックリタワー」「かわいいタワー」「虫タワー」などなど。高い建物を作ったのだと分かりました。粘土の色で染まった手、粘土のにおいがする手が、張り切った活動



ぶりを物語っていました。

6月22日（月）自転車・鍵盤×2

四年生が交通安全教室で、自転車の正しい乗り方について学びました。自転車による事故で尊い命が失われることもあるため、指導員の方々の説明も真剣そのものでした。「自転車五則」「点検ブタベルサハラ」についての話の後、一人ひとりが実践しました。皆が見つめる中で運転したので、緊張したことでしょう。ゴールで自転車から降りる子からは、安堵の表情が伝わってきました。

一年生が鍵盤ハーモニカについての講習を受けました。とても大事な話がいくつかありました。きれいな音を出すための3つの息「やさしい息」「あたたかい息」「ゆっくりした息」、歌口の約束「かまない!」「ひっぱらない!」「ふりまわさない」。私たちの生活にも生かせるマナーだと思います。一年生は張り切って楽しく、扇ハーモニーを作ってくれることでしょう。

二年生の音楽では、鍵盤ハーモニカを使って演奏を行っていました。ある節について、自分で音階を決めてよいという活動でした。「ファミファド」「レミレファド」などを書いた子がそれを吹いて友達に聴いてもらっていました。私も何人もの子の曲を聴かせてもらいました。音を並べると素敵な音楽が作れることを実感したようで、みんなとっても楽しそうでした。



6月21日（日）W杯

本日は所用を午前中に済ませて、13時キックオフのW杯の試合を自宅で観戦しました。12時過ぎに昼食を外で済ませたのですが、気のせいか、いつもより人が少ないように感じました。多くの方が自宅でTVの前にいたのかもしれませんが。そう言えば、午前中も日本のユニホームを着た人をたくさん見ました。快心の試合。興奮しまし



た。子供たちに夢を与えてくれたと思います。

6月20日（土）修学旅行句

本日は修学旅行のしおり、すべてに目を通しました。六年生が作った俳句（川柳）を見て、賞を決めるためです。なかなか面白い句がたくさんありました。選出基準は「なるべくその地の名称を入れない」「独自の表現」「おもしろい」です。一番笑ってしまった句は、次の一句です。

お弁当 ママの手料理 久しぶり

佳作として選びました。家庭の忙しさを想像できたこと、お弁当への感謝と喜びを感じさせてくれました。



6月19日（金）カメ・水やり・13号

登校後の扇っ子が十人近く池の近くに集まっていました。そばに行ってみると、「カメが三匹出ている」というのです。昨日の雨で、池の水が増え、普段甲羅干しをしている岩が浸水してしまっていたのです。池を囲む石の上に出てきて甲羅干しをしていたカメも、驚いたでしょう。子供に囲まれたのですから。一年生の一人が「触ってもいい？」と、近くにいた六年生に聞いていました。



三年生が朝、植物の水やりをしていました。ハウセンカとヒマワリだと教えてくれました。水をあげながら「今日はあげなくていいんじゃないの？」「でも、土が乾いているから」「あげるとしても、2cmくらいでいいよ」などと声をかけ合っています。この子たちは、水を上げることが目的ではなく、成長ぶりを見に来ることが目的だと分かりました。



朝、四年生が三人で校長室にやってきました。洗浄器の探求を続けている子が、助手を二人連れてやってきたのです。前は「第10号」を持ってきてくれたのですが、今回は「第13号」。小さくなって、より早くきれいな水



が出るようになったと説明してくれました。図工担当の先生に、**小さな粒**をたくさんもらったとも言っていました。この子たちの探求はまだ**まだ続く**ようです。**自走**する姿、本当に微笑ましいです。

6月18日（木）発表会・やまばと号・観察

音楽室では、**五年生**の**リコーダー**発表会が行われていました。「小さな約束」を、一人ずつ前に出て披露しています。聴いている子も、**メモ**をしながら真剣に耳を傾けています。ある子のメモを見ると、一人ひとりの**評価**が詳細に書いてありました。「**音色**がきれい」「もう少し**練習**すれば・・・」「ピーをなくせばもっとよくなる」「姿勢がよくて、みんなを見ている」「よく**練習**しているのが分かる」などなど。音楽を感じる耳や目も**育っている**ようです。

毎月学校に来てくれる移動図書館「やまばと号」。本日から場所を**職員玄関前**にしてもらいました。安全面と、より多くの子に知ってもらうためです。この日はたくさんの子が集まってきました。中に入って**本を読んでいる**子もいましたし、本を**借りている**子や貸し出し**カード**を作ってもらっている子もいました。多くの子に関心を持ってもらうためには、**場所も大切だ**と感じました。

二年生の教室に、育てている**野菜の観察カード**が貼ってあります。「きゅうりのかんさつ」「スイカのかんさつ」などのタイトルが書いてありますが、その中に、面白いタイトルを見つけました。「**スイカちゃん**のかんさつ」「**キュウリくん**のせいちょう」「**ナスたろう**のかんさつ」などと、名前を付けているのです。名前を付けることによって、より**大事**に育てようという素敵な発想なのでしょう。



6月17日（水）坂・東照宮・お土産

修学旅行二日目。バスは東照宮へと向かいます。朝食では、恒例の「**寝てない自慢**」話も聞こえてきました。寝不



足の子や朝食を十分とれなかった子にとって辛いのが、いろは坂。20以上の急カーブを楽しむためには、睡眠と食事がとても大事だと、毎年感じます。「睡眠が 坂の攻略 いろはのい」という句が、浮かびました。

世界遺産・東照宮では、多くの小学校と出会いました。写真撮影も、予定変更を強いられました。現地の**ガイドさん**の話をよく聴いている子が多かったようで、後で感想を聞くと「おもしろかった」「初めて知った」「**また来たい**」「彫刻の**意味**が分かった」などの声を聞けました。暑さが心配でしたが、全員がほぼすべての箇所を回ることができたようです。昼食地へ行く時の足取りも軽そうに見えました。

昼食後はお土産購入の時間です。たくさんのものを抱えた子が、レジに列をつくりました。数人の子に**相談**されたのは「何がよいか」です。「妹はどっちを喜ぶか」「姉にもらったものと同じのを買うのはどうなのか」など。**予算**は決まっています。**誰**に買っていかかも決まっています。授業中よりも**悩み多い**表情を見て取れました。もちろん自分のために買うものを選ぶときも悩んでいたようですが、もらった人が**何を喜ぶか**が最大の課題でした。

東武ワールドスクウェアでの活動を終え、バスは帰路へ。多少の渋滞がありましたが、ほぼ**予定通り**、ほぼ全員が**健康**で二日間を終えました。

6月16日（火）滝・屋、写真・絵付け

六年生が待ちに待った修学旅行。**最高の天気**で二日間を過ごすことができました。初日はまず華厳の滝です。毎年行っている私から見ると水の量が少なくて迫力が今一つでしたが、子供たちは**喜んで**いました。水の量よりも、高さに注目してくれたのでしょう。何よりも**好天**と旅行の興奮も手伝って、最初の観光地では大きな歓声が聞こえてきました。

戦場ヶ原、**三本松**で昼食。早起きとバスの中での盛り上



がりで「腹ペコだ」だったようです。愛情込められたお弁当を邪魔する存在が、子供たちを困惑させます。虫です。自然豊かな野外では避けて通れないのかもしれませんが、それにしても今年は多かったと感じました。その後は学年、学級での記念撮影。ここではカメラマンさんの大きな声が、子供たちに向けられました。撮影責任者としては、全員を並ばせるのは、正に戦場の感がありました。

ハイキングを終えて到着した小西ホテルは、改装のためとってもきれいでした。部屋も様変わりしていました。小学生が修学旅行で泊まるはもったいないと感じるほど。入浴、夕食後には、益子焼の絵付けを行いました。それぞれに「日光最高!」「〇年〇組」の文字や「三猿」「眠り猫」などの絵を、黙って描き込みました。自分と向き合う時間にしてほしいと、指導の方が言ってくれたのです。

一日の活動の疲れを、素敵なホテルの部屋でぐっすり眠ってとってほしいと願っていましたが、翌日話を聞くと、寝不足の子もだいぶいたようです。



6月15日（月）戦争・体づくり・オス

四年生の国語では、名作「一つの花」の学習をしています。この日は、子供から出た「問い」の一つ、「なぜ体が丈夫でない父が戦争に行ったのか」について学び合っていました。「男の方が体が丈夫だから」「人手不足だから」「たくさん人がいた方が、戦争では有利だから」「敵に倒されて、人が減ってきたから」「家族を守るため」などなどの意見が出ました。戦争の恐ろしさについて考えるきっかけにもしてもらいたいです。

おうぎ学級が室内で体育を行っていました。腕立て、腹筋をどれくらいできるかに挑戦していました。「1, 2, 3・・・」と、大きな声が聞こえてきたので、引き寄せられて教室に入っていました。正しくこれらの運動を行うと、鍛えられますが、その分疲れます。終わるとしばらく天井を仰いで寝て動かない子もいました。コツコツと鍛え



た体は宝物です。

五年生の理科では、「産卵のとき、オスは何のために、川に戻るのか」という課題について学び合っていました。

「卵を守るため」「メスを守るため」「精子と卵を合わせるため」「産卵を手伝うため」「卵を海に運ぶため」「もしメスが死んだらオスが卵を守るため」などなどの意見が出ていました。家族の役割について、自らの家族のことを話している子もいました。



6月14日（日）わんぱく相撲

第32回わんぱく相撲入間場所が、市民体育館で行われました。扇っ子も30人近くが参加しました。市内の小学生が500人以上集まり、体をぶつけあって勝負を競いました。「礼に始まり礼に終わる」と言われるように、勝っても負けても、最後はしっかり礼で終わることも学べる競技です。本校は、昨年度に引き続き総合2位、準優勝でした。



6月13日（土）収穫

仕事がたまっていたので、出勤。校長室で職務。様々な書類やメモの中に、「〇日の給食で、畑で収穫したジャガイモを出す」というものがありました。ふと思い出したことがあり、それを確かめにある教室に行ってみました。記憶通り、たくさんの美味しそうなジャガイモが広げられています。楽しみが一つ増えて、気分が明るくなりました。



6月12日（金）小数・スタンプ・録音

四年生の算数で、小数同士のたし算・ひき算をしていました。筆算で答えを出しました。どうやって筆算したかを書いていましたが、表現方法はそれぞれです。手順を詳しく書いている子もいましたし、ポイントだけずばりと書



いている子もいます。「**小数点をそろえる**」「**整数と同じように計算する**」。この2つが入っている子は理解している子だと、私は考えました。

一年生の教室では、とっても楽しい活動が行われていました。絵の具がたくさん用意され、いろんなスタンプを紙に押していくのです。**手形**までは想像していましたが、**足形**をつけ始める子がいて驚きました。作品よりも、足形をつけた子の**導線**が気になって仕方ありませんでした。私が注目していた子は、絵の具をつけた**足を浮かせた**ままで動いていましたので、少し安心しました。

あるクラスの音楽で**合唱**を**録音**していました。その音を聴いて、その感想を出し合った後に、先生が問いました。「これを**プレゼント**してもいい？」と。お昼の放送で流してもいいかどうかを尋ねているのです。ほとんどの子が手を上げました。「**今日**、流してほしい」と声を上げる子もいました。放送でみんなに聞いてもらえるだけの歌声をつくり上げたという**達成感**があったようです。



6月11日（木）10号・楽しみ・問い

朝、校長室に四年生が三人やってきました。自作の**浄水器**を持ってきました。そう言えば、以前「作ってみました」と言って持ってきてくれたことがありました。「**第10号**ができた」「かなり**レベルアップ**した」と言って、目の前水を入れて実演してくれました。レベルアップしていることがすぐ分かりました。「**小さく**なった」こと、「**早く**できる」こと、何より作成者の「**自信**に満ちた表情」が、探求の成果を物語っていると感じました。

六年生の教室に「**楽しみは・・・**」で始まる短歌が貼ってありました。毎年この時期に作られる短歌なのです。多く題材としてあがっているのが**修学旅行**です。つい笑ってしまう歌を見つけました。

楽しみは 修学旅行 ねる前に
恋バナをして もりあがるとき



盛り上がりすぎないことを祈ります（笑）。

二年生が国語で、名作「スイミー」を使って学習を進めています。教室には、子供たちがこの作品を読んで「？」と思ったことが貼ってあります。「なぜスイミーは誰よりも泳ぐのがはやいんだろう？」「なぜマグロはスイミーを追いかけるのだろう？」「なぜスイミーだけ黒いの？」「スイミーの名前は誰がつけたのだろう？」などなど。深く読めば分かる「？」から、学び合って解決できそうな「？」、探求がずっと続きそうな「？」まで並んでいます。



6月10日（水）探検・水族館・事故

二年生が一年生を連れて学校探検を行いました。一年生の教室に入った二年生の代表が、約束を4つ話しました。①静かに ②迷子になったら ③トイレ・水飲みについて ④仲良く。③については、こんな話をしてくれました。「一年生はトイレに行きたくなくなったり、水を飲みたいなくなったりしたら二年生にすぐ言って下さい。二年生は、ときどき、一年生に聞いてあげて下さい」。学校探検は、大成功。一年生も終始、笑顔でした。



二年生の廊下には、天井からクラゲが飾られました。側面には魚の絵が貼りだされ、歩くと水族館のようです。ある子に訊いてみると「スイミーの世界をつくっています」と教えてもらいました。昨日は森林浴の場所に出会いました。素敵な空間が、今年はたくさん登場しています。まだ未完成のようなので、完成することと、他にもこんな空間が登場するのではと、期待大。ワクワクします。



五年生が、ある場面を見て「なぜ事故が起こったのか」を学び合っていました。すべての事故に共通するような意見がたくさんワークには書かれていました。「不注意」「よそ見」「遊びに夢中」「周りを見ていない」「焦っていたから」「ルールを守る気がない」などなど。自分事として、経験などを離しながら学び合っていました。今週は短縮日課。放課後、安全に生活してもらいたいです。



6月 9日（火）色決め・大木・発表会

体育朝会は、体育館で運動会の色決めを行いました。各クラスの代表がステージ上で白と緑の玉を引きました。引き上げると、そのクラスの子からは大きな歓声が上がりました。緑組になりたい子や白組で連覇したい子の思いが叶った瞬間だったのでしょう。引く前にも、代表の子に「〇〇さん、がんばれ！」という声援が飛び、盛り上がりました。白緑（はくりょく）は扇の伝統。今年もこの二色でドラマを生み出してもらいたいです。

3階の渡り廊下には、大きな木が並んでいます。四年生が図工で描いた木です。例年は画用紙一枚に作品が収まっていたので教室の廊下に並んでいたのですが、4枚、5枚、9枚の大作がたくさんあるので、ここに掲示されているのです。廊下を歩くと森林浴のような癒しとパワーをもらえる気がします。職員や扇っ子のチャレンジ精神も感じて、エネルギーもいただける空間になりました。

音楽室では、連日発表会が行われています。歌やリコーダーで、練習の成果をみんなに見てもらう、聴いてもらう時間です。聴いている子もその感想を書いています。「〇〇さんはとっても上手になった」「〇〇さんは、歌っている時に、こっちを時々見てくれている」「〇〇さんは、姿勢がよくて、堂々と歌っていた」などなど、友達の成長や音楽への姿勢・意欲も、聴き手には伝わっていることが、分かりました。



6月 8日（月）実習生・観察・重さ

本日は、52回目の開校記念日です。それを記念してか、本日から二年生に教育実習生を迎えました。自己紹介の前からクラスの子となじんだようで、友達のように接してくれました。将来は「子どもが毎日学校に来たくなるような先生」になりたい」と話してくれました。立派な先生として巣立っていき、扇小を「教員人生のふるさと」と思



ってもらえるとありがたいです。

二年生がミニトマトの観察をしていました。自分で撮った写真を見てワークにまとめていました。写真を通して「ビー玉くらいの大きさ」「消しゴムくらいの大きさ」「つるつるしていた」「ざらざらしていた」「前より大きくなった」など、生で観察した記憶をしっかりと書いていることに、なぜか感心してしまいました。写真だけでは分からないことがあることも、気づいてくれたことでしょう。

おうぎ学級の算数では、はかりに物を載せて200gを作る活動が行われていました。ノート、プリント、ハサミ、筆入れ、ブロック、下敷きなどなどを載せて200gぴったりにしようというめあてです。あるグループは、あと少しで200gというところまでできました。一人の子が何を持ってくるかと見てみると、洗濯ばさみです。それを載せてもあと少し。残りはプリントを1枚、2枚と載せていき、200gぴったりができました。



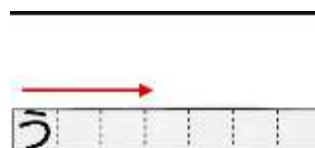
6月 7日（日）梅雨入り

関東が梅雨入りするとのニュースが流れてきました。本日は、午前中いっぱい校務。校庭から聞こえてくる野球少年少女の声に元気をもらいながら、雑務をこなしました。外国語コーナーには、世界の「雨の日の過ごし方」が掲示してありました。ある国では、雨でも外で元気に遊ぶと紹介されています。今週は、外遊びが難しそうです。



6月 6日（土）選手権

すぐーで配信した国語選手権の回答が集まってきました。今回は「うで始まる7文字の言葉」。たくさんの予想を超える回答が集まってきました。一年生も3人が送ってくれました。「運動場」「宇宙飛行」くらいを予想していたのですが、子供の力はすごいと思いました。「嘘八百」「紆余曲折」「打ち上げ花火」「ウルトラソウル」「生まれ



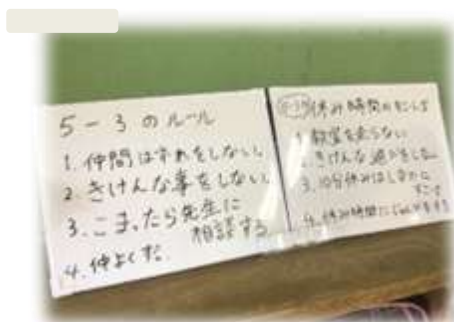
故郷」「ウーバーイーツ」「ウグイス嬢」「うちでのこずち」などなど。多い子は4つの回答を送ってくれました。

6月 5日（金）たし算・遠足・ルール

三年生の算数では、大きな数のたし算を学習していました。0～9の数字を使って自分で考えたたし算やひき算を友達に解いてもらう活動をしていました。PCのアプリで簡単に「1 2 3 4 + 9 8 7 6」などの計算を作れるのです。自らジャンプ課題を設定する子もいて、答えを4 4 4 4、1 0 0 0 0などにしようと探求していました。これが「自走する」姿です。

一年生が遠足に行きました。気になって、私も見に行きました。ちょうど楽しそうに遊んでいるところでした。数分後、「集合」がかかると、さっと全員が先生のもとに集まりました。昼食の話を聞いてから移動する場面まで見ていました。日頃の指導がよく行き届いていることを実感しました。社会で生かされる力が育っています。だからこそ、みんなが楽しそうに、安全に、気持ちよく活動できたのだと思いました。

あるクラスに入ると、クラスのルールがホワイトボードに書いてありました。「仲間はずれをしない」「きけんなことをしない」など。おそらくこのルールが必要な事案があったのでしょう。初めにルールありきも必要ですが、生活の中で、その集団でつくり上げるルールの方がもっと必要だと思っています。この後、このルールも提示する必要がなくなる日が来ることでしょう。そして新たなルールができる日も来るでしょう。



6月 4日（木）キャラ・音楽・起床

あるクラスでは、クラスのキャラクター選びが行われていました。黒板には20近くの絵が並んでいます。応募してくれた子の作品です。この中から一つに絞るのはと



でも大変そうでした。どれも**力作**、思いが込められた絵だからです。最終的には一つに決まりましたが、先生は「全部の絵は**教室に**ずっと貼っておきます」と言っていました。決まるまでの過程に**絆**が深まっていく瞬間があるのだと、見ていて感じました。

三年生の音楽では、**鍵盤ハーモニカ**と**歌**を半数ずつ担当しての演奏・合唱が行われました。振り返りで子供たちが「声が**聞こえない**」「鍵盤の音しか聞こえない」「歌が**乱暴**になった」などの意見が出ました。「もっと歌の**人を多く**しよう」「鍵盤は、**もっとやさしく**音を出そう」などの意見も出ました。みんなで音楽を作っていく素敵な場面でした。最後には、最初と比べ物にならない素敵な音楽が誕生しました。拍手！

外国語の授業で、「**休みの日**、**何時に起きるか**」を英語で伝え合う場面がありました。私が興味をもったのは、ワークに書かれた起床時刻です。早い子は**6時**。一番遅い子は**10時半**でした。4時間以上の差があります。これが生活の差です。6時に起きた子は、この日**どんな一日**を過ごすのか、10時半に起きた子は前日**どんな夜**を過ごしたのか、本当は聞いてみたいのですが・・・。



6月 3日（水）臨時休校

台風のため臨時休校。午前中の**強風**と雨を見ると、子供の登校は難しかった、**危険**だったと感じました。用があって11時頃一度外に出ましたが、傘が役に立たないほどの雨と風でした。私を含めた出勤した職員は、日頃できない職務にあたっていました。私もほぼ一日中校長室。校内を歩いてみると、**ミニトマト**も**避難**していることを知りました。子供たちはどんな一日を過ごしたのでしょうか。



6月 2日（火）誕生日・5秒・歓声

講話朝会は、6月8日の本校開校記念日を祝う話をし



ました。今年は、3つのことを、各クラスで学び合ってもらいました。①**扇小学校**のどこが好きか ②**お父さん、お母さん**のどこが好きか ③なぜ**誕生日**はお祝いをするのか 六年生は③の意味をよく考えてくれたようで、素敵な回答がたくさんありました。「父と母が**親になった記念日**だから」「これまで**育ててくれた人たちに感謝**するため」などです。

四年生が算数で小数を学んでいます。そのジャンプ課題で「**5秒で止める**」活動が行われました。PCを使い、目をつぶって5秒で時間を止めるのです。当然、ぴったりには止められません。「5秒28」「5秒74」「**4秒78**」などなどの記録が出ました。問題はここから。誰が一番5秒に近いのかを学び合いです。**5秒に届かずに**残念がっていた子の記録が、突然注目され始めました。

昼休み、「**明日が休校**になる」ことの放送をしました。「台風の関係で明日の授業がどうなるのかを、昼休みに放送する」ことを、講話朝会で**伝えて**いました。休職中ではなく、あえて昼休みにしたのは、緊急時に放送を**聞く練習**になると考えたからです。いつもは、にぎやかな時間ですが、この放送は校庭にいた子も、廊下で楽しそうに会話していた子もよく聴いていたようです。「お休みになります」といい終わるやいなや、**大歓声**が放送室に届いたからです。



6月 1日（月）募金・ハードル・眼科

六月になりました。**暑い日**からのスタートとなりました。朝から張り切って活動していたのは**環境ボランティア委員会**の子たちです。緑の羽根募金を行っています。明日までの二日間です。「思ったよりもたくさんの募金が集まったこと」「一年生がたくさん募金してくれたこと」を委員会の子は驚き、喜んでいました。これも貢献の具体的な表現方法だと感じました。

四年生が体育で、障害物走に取り組んでいました。目当



ではリズムよくハードルをまたいで走ること。そのリズムを、子供たちが走る前に手拍子で確認していました。イメージをもってから体を動かすことの大切さを目の当たりにしました。リズムを刻む前に比べて、驚くほどスムーズに走っていましたし、子供自身がそれを実感したようです。

眼科検診がありました。廊下で並んで待つ子に、先生が目の開け方を伝えていました。先生の前に行ったら、目を大きく開けて見せるのだと、話していました。待っている子の多くは、手で目の下を引っ張って目を大きく大きくする練習をしていました。黙って待っていなくてはいけないのですが、その顔を見合って、笑いだしてしまう子もいました。その笑顔の目は、細くなっていました。

